

いしやまタイムス NO3 石山小学校教育実践だより

令和5年10月5日

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果から、我が校の強み・弱みについてお知らせいたします。

調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

問題別調査結果 概要

- ◇今年度は、国語・算数の2教科で実施され、いずれの教科も全国正答率と同じような結果となりました。
- ◇国語の「書くこと」に関する問題では、全国正答率を上回る問題もあるなど、「話すこと・聞くこと」「読むこと」と比べ、力を付けています。目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけることができるといった「読むこと」に関する出題は、正答率が低いものもあり、必要な情報を読み取る力、質問の意図を解釈するなどを身に付けていく必要があります。
- ◇算数の「変化と関係」、に関する問題の正答率は、全国平均を上回る結果となりました。「数と計算」領域においても正答率が全国平均を上回る問題がありました。2つの数量が比例関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて答える「記述式」の問題形式に対し、正答率は全国平均を大きく上回りました。しかし、「データの活用」に関する問題では、全国平均を下回る結果となったものもありました。数値を読み取るだけでなく、表やグラフから情報を読みとる力を育てる必要があります。
- ◇2教科ともに、無回答率は全国平均よりも大幅に下回っていました。しかし、記述式の回答を求められる問題は、選択式や短答式の問題に比べて正答率は低くなっています。国語の「書く力」に対して力を付けている傾向がみられることを受け、他教科においても問われたことに対し、書き表す表現力をさらに身に付ける必要があります。

児童質問紙調査

全国平均と比較して良い傾向がある主な質問項目	<ul style="list-style-type: none">◇先生はあなたの良いところを認めてくれていると思いますか。◇先生は授業やテストで間違えたところや理解していないところについてわかるまで教えてくれると思いますか。◇人が困っているときは進んで助けていますか。◇人の役に立つ人間になりたいと思いますか。◇学校に行くのは楽しいと思いますか。◇学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができますか。
全国平均と比較して課題が見られる主な質問項目	<ul style="list-style-type: none">◇自分には、よいところがあると思いますか。◇将来の夢や目標を持っていますか。◇困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。◇読書は好きですか。◇今住んでいる地域の行事に参加していますか。

指導の充実に向けて

- ・学力学習状況調査の結果を踏まえ、全国平均に比べ無回答の児童が少なかったことは、本校校内研究のテーマとして近年取り組んでいる「自分らしく自信をもって表現する子どもの育成②～書き表し方を工夫する国語科『書くこと』の指導～」において全校として「書くこと」を重点的に指導してきた結果でもあります。今後も、児童が「書くこと」に抵抗を持つことなく、自分を表現できるように学年の発達段階に応じて系統立てた指導をしていきます。
- ・友達との意見や考えを交流することを前向きに捉えている児童が多く見られます。昨年度から全教職員が取り組んでいる「石山スタンダード」を継続し、授業の中で児童がインプットしたことをペア学習や小グループでの交流を通じて周りの児童にアウトプットすることにより、児童の話し合いが深まるような場面を取り入れ、知識や理解の定着を図ります。
- ・児童の悩みや不安を相談できるよう、教育相談等の機会を大切にするとともに、児童の変化を敏感にキャッチできるよう日頃からのコミュニケーションに心掛けた児童の関係を把握するよう努めます。
- ・保護者の皆様と児童の学習や生活の状況について、丁寧に連絡、相談し、ともに同じ方向性をもって児童を支えることができるように努めます。

